

F I
9
3

昭和九年東京府立松澤病院年報

慶應義塾大學醫學部
豫防醫學教室

国立保健医療科学院蔵書



10012193

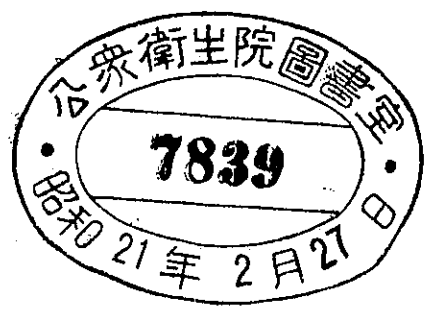
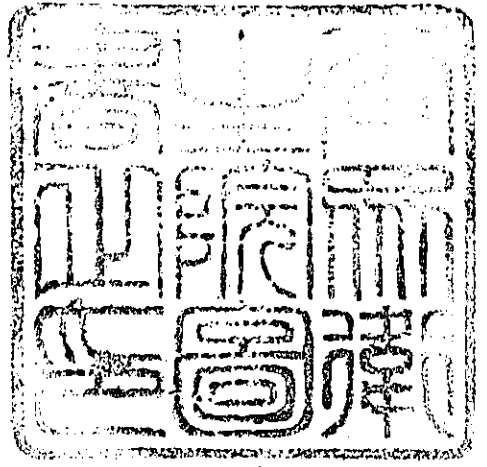
F I
9
3

F I
BR 9
3

7839

昭和二十一年二月二十一日
川上理一氏
贈
東京衛生院
公

F1
BB 9
3



7839

目次

第一編 沿革、制度、事務

(一) 沿革……………一

(二) 敷地及び建物……………二

(三) 職員及び雇傭員……………五

 (イ) 職員……………五

 (ロ) 雇傭員……………六

 (ハ) 職員勤続年次……………七

 (ニ) 雇傭員勤続年次……………七

(四) 看護人……………八

 (イ) 看護人養成規則……………九

 (ロ) 看護人ノ獎勵……………二

 (ハ) 看護法講習修業者及び卒業者數……………二

 (ニ) 看護人勤続年次……………二

目次

(五) 病棟及び病室 三

(六) 醫務 一五

(七) 治療 一六

(一) 教育治療 一六

(二) 作業治療 一七

(イ) 生産品 二六

(ロ) 畜産品 二七

(ハ) 動物 二七

(ニ) 手工品及び園藝品 二八

(三) 病者慰安及び娛樂 二八

(四) 病者運動 三〇

(八) 齒科治療 三〇

(九) 保護室收容 三一

(十) 研究及び検査設備 三一

(十一) 薬餌及び食餌 三五

(十二) 裁縫及び洗濯 三六

(イ) 裁縫(新調修繕) 三六

(ロ) 洗濯 三九

(ハ) 自費病者洗濯料金及び數量 四〇

(十三) 病者理髪 四一

(十四) 病者小遣金 四二

(十五) 水道施設及び給水方法 四三

(十六) 消防及び救護 四四

(十七) 燈火及び暖室法 四四

(十八) 夜警及び巡回 四五

(十九) 文書收受及び發送 四五

(二十) 病者面會 四六

(廿一) 參觀 四七

(廿二) 日誌主要事項 四九

(廿三) 蝶友會 五六

(廿四) 病者救濟會

第二編 會計

歲入決算

歲出決算

歲入豫算

歲出豫算

第三編 入退院病者ニ關スル統計

(一) 外來病者

(二) 入院病者及ビ退院者

(三) 在院病者

(四) 退院者

(五) 全治

(六) 死亡

附錄

昭和十年七月末日現在職員一覽

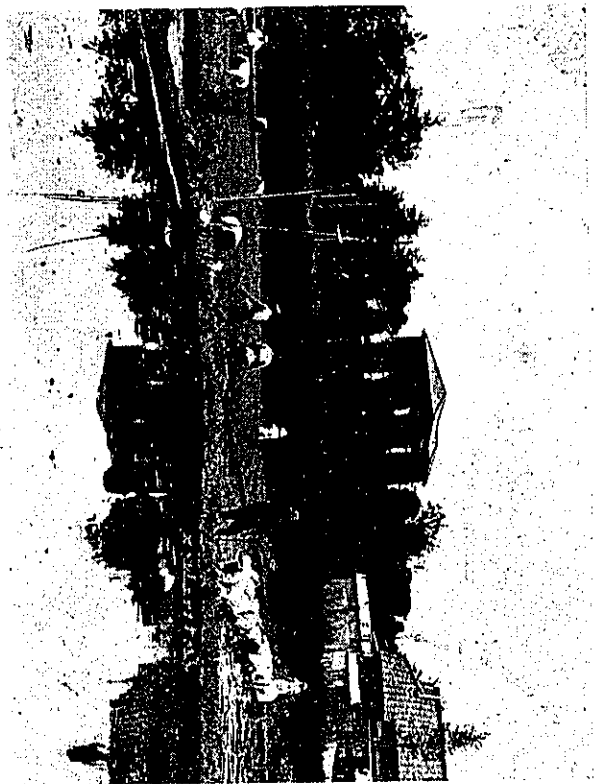
(目次終)



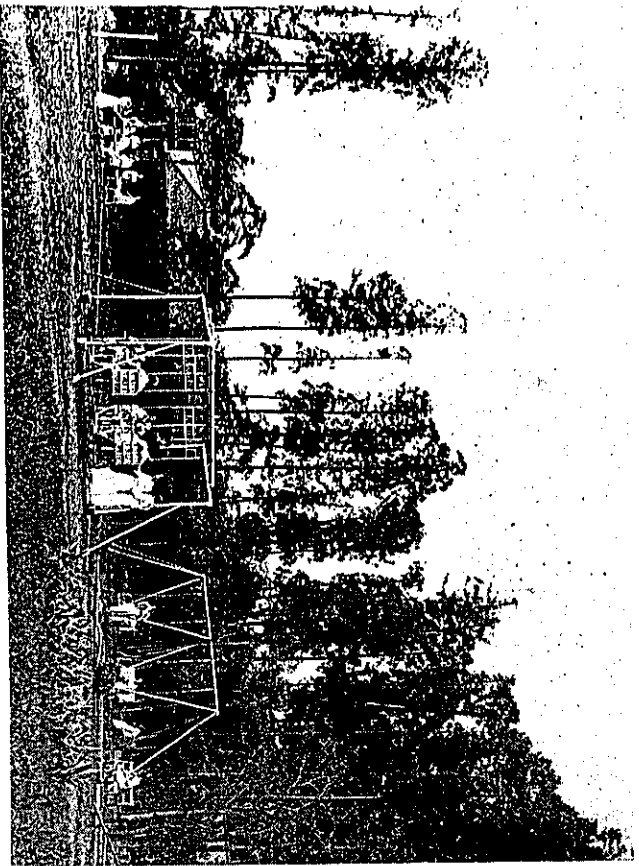
本館正門



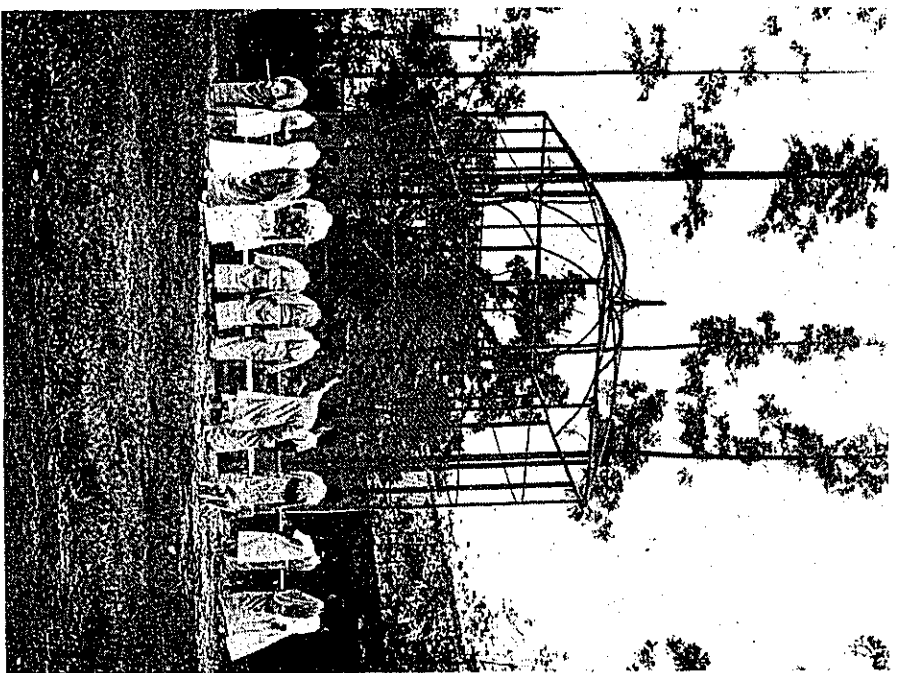
部一ノ棟病院本
(圖 瞰 鳥)



業作植田者病男



(一其) 部一ノ場動運者病女

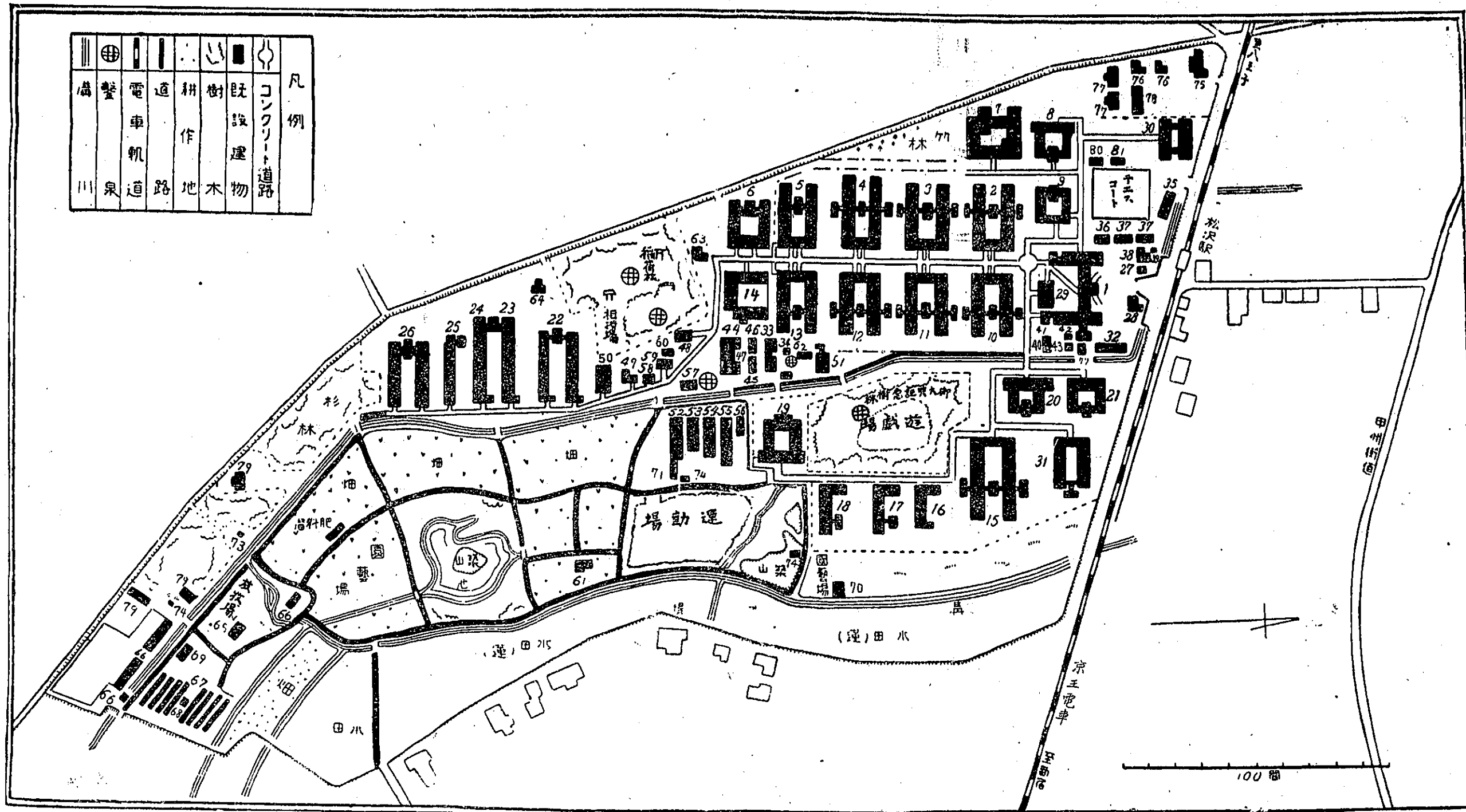


(二其) 上同

大正七年
三月起工

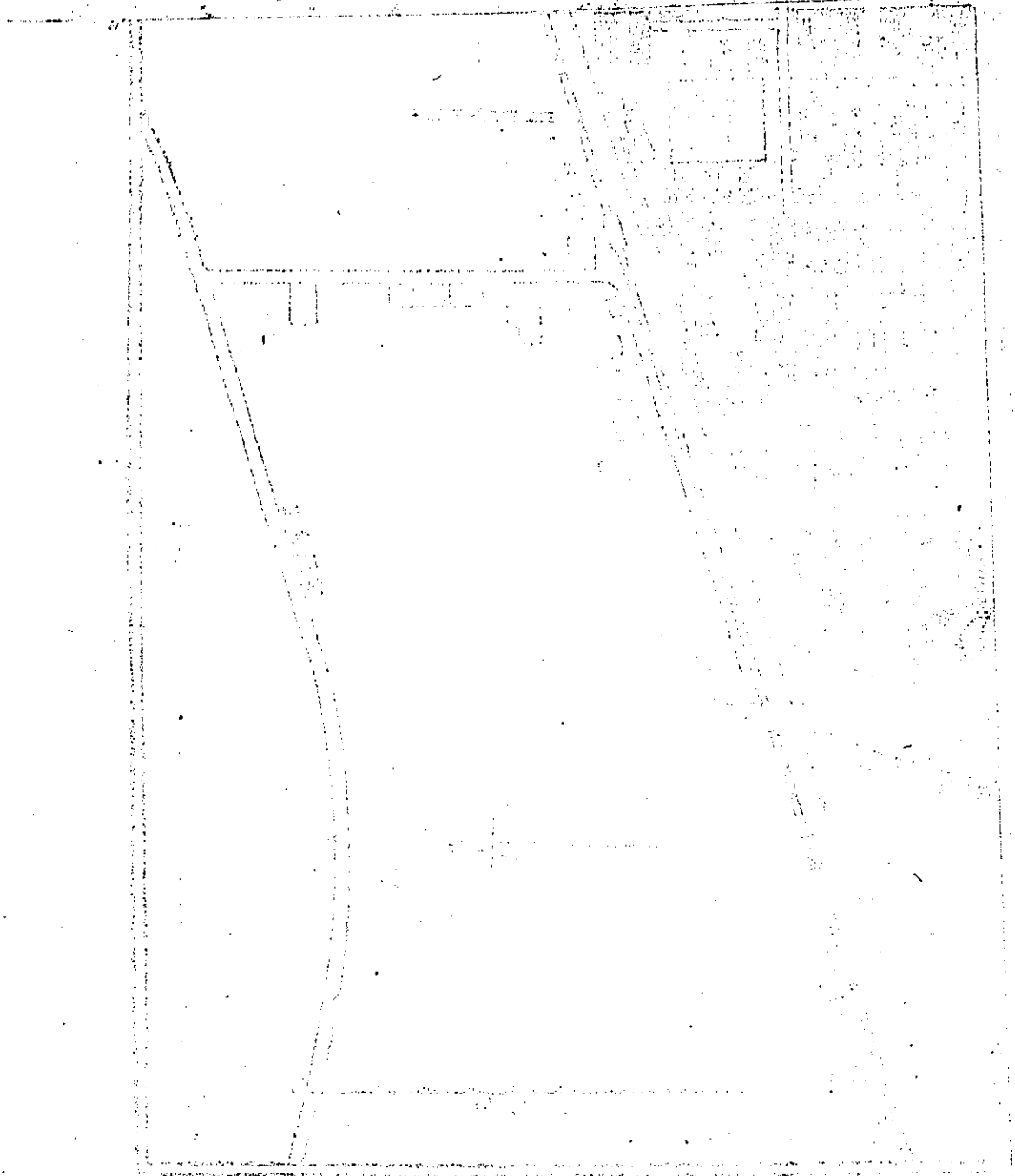
東京府立松澤病院略圖

東京市世田谷區
北上澤三丁目

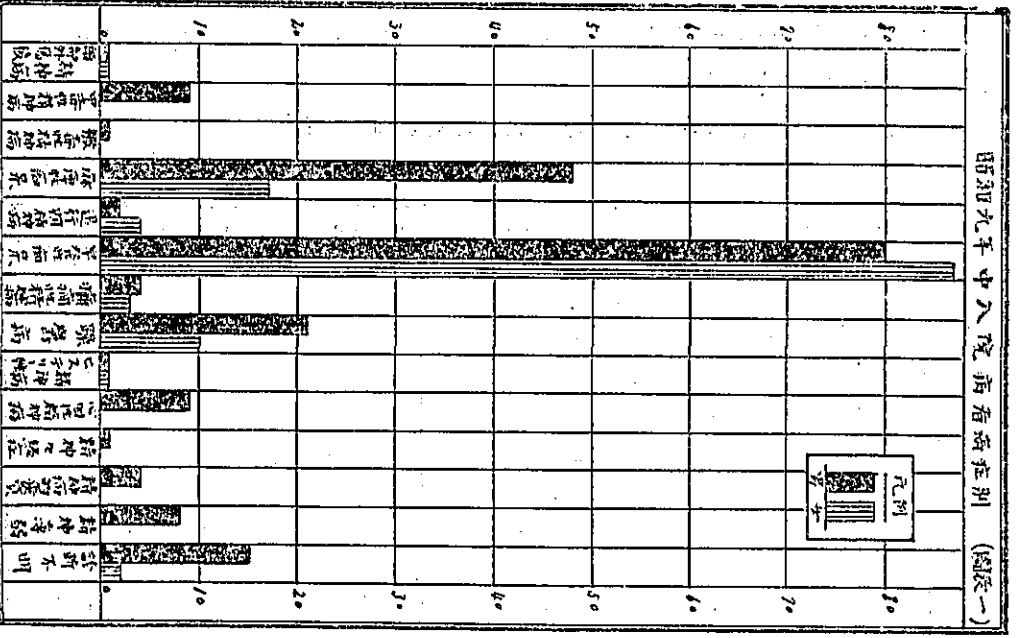
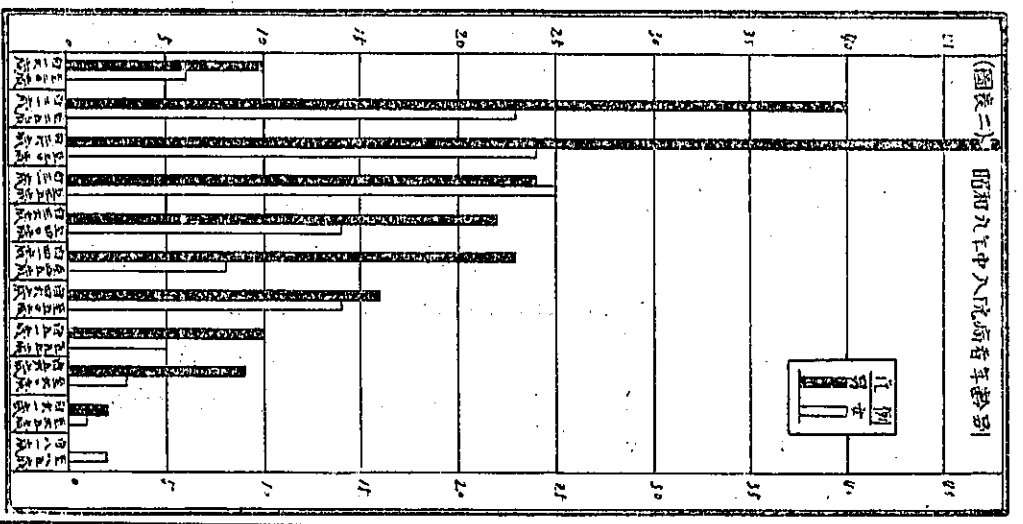
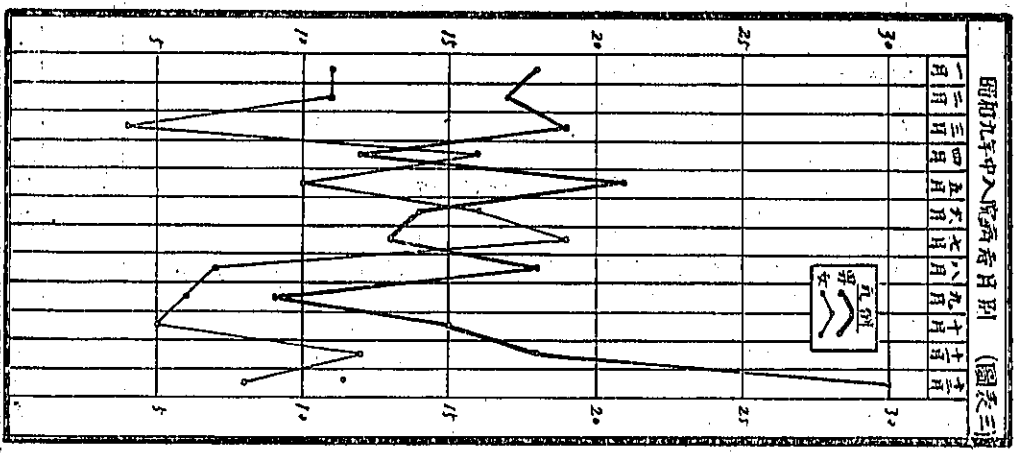


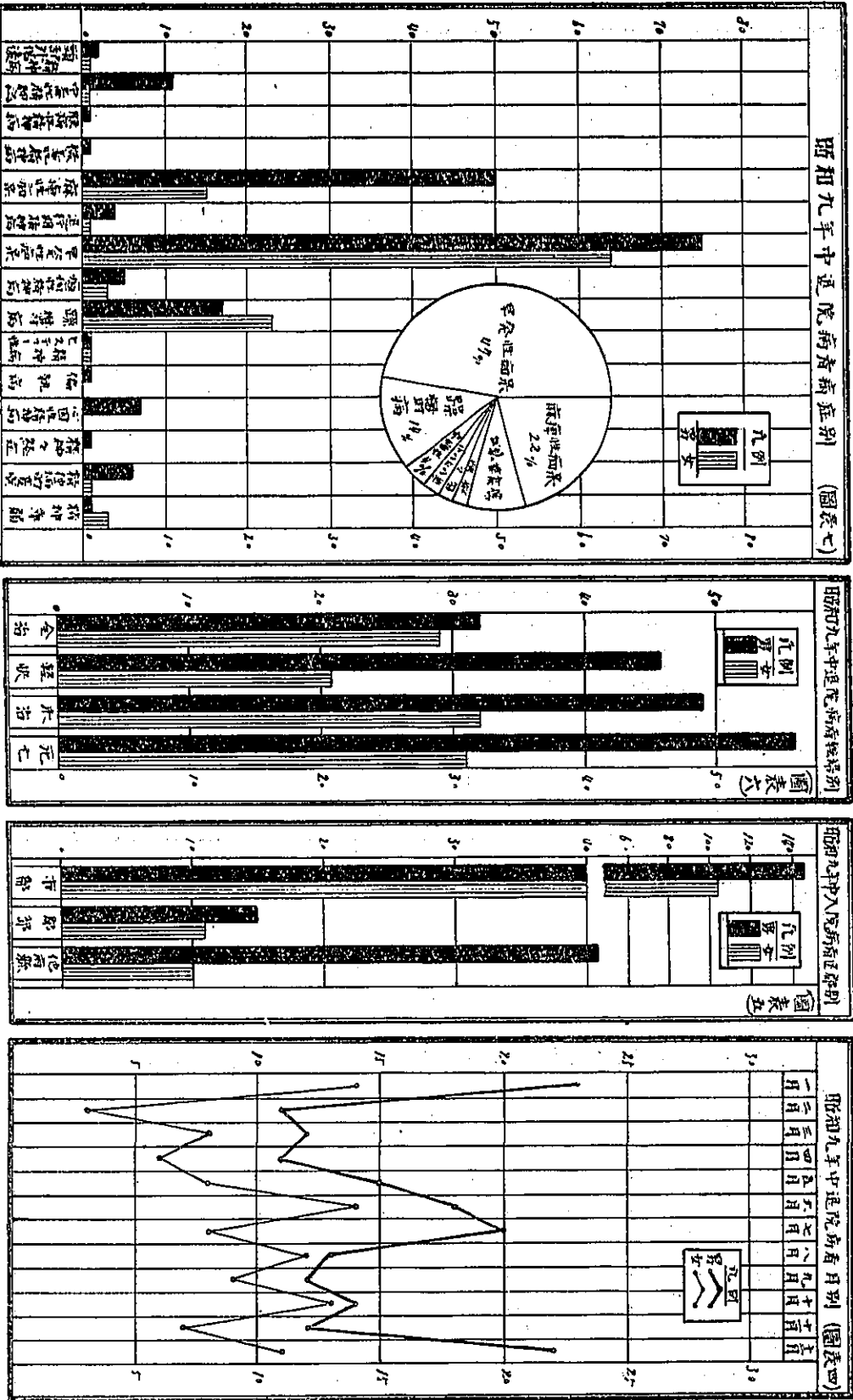
番	號	名	坪數
81	西	雜貨店	20.00
80	成	號舍	20.00
79	丁	號舍	20.00
78	丙	號舍	20.00
77	乙	號舍	20.00
76	甲	號舍	20.00
75	便	所	20.00
74	汚	物	20.00
73	試	驗	20.00
72	農	夫	20.00
71	國	產	20.00
70	畜	舍	20.00
69	豚	舍	20.00
68	豚	舍	20.00
67	豚	舍	20.00
66	豚	舍	20.00
65	豚	舍	20.00
64	巡	視	20.00
63	給	水	20.00
62	病	者	20.00
61	製	水	20.00
60	製	水	20.00
59	製	水	20.00
58	製	水	20.00
57	製	水	20.00
56	製	水	20.00
55	製	水	20.00
54	製	水	20.00
53	製	水	20.00
52	製	水	20.00
51	製	水	20.00
50	製	水	20.00
49	製	水	20.00
48	製	水	20.00
47	製	水	20.00
46	製	水	20.00
45	製	水	20.00
44	製	水	20.00
43	製	水	20.00
42	製	水	20.00
41	製	水	20.00
40	製	水	20.00
39	製	水	20.00
38	製	水	20.00
37	製	水	20.00
36	製	水	20.00
35	製	水	20.00
34	製	水	20.00
33	製	水	20.00
32	製	水	20.00
31	製	水	20.00
30	製	水	20.00
29	製	水	20.00
28	製	水	20.00
27	製	水	20.00
26	製	水	20.00
25	製	水	20.00
24	製	水	20.00
23	製	水	20.00
22	製	水	20.00
21	製	水	20.00
20	製	水	20.00
19	製	水	20.00
18	製	水	20.00
17	製	水	20.00
16	製	水	20.00
15	製	水	20.00
14	製	水	20.00
13	製	水	20.00
12	製	水	20.00
11	製	水	20.00
10	製	水	20.00
9	製	水	20.00
8	製	水	20.00
7	製	水	20.00
6	製	水	20.00
5	製	水	20.00
4	製	水	20.00
3	製	水	20.00
2	製	水	20.00
1	製	水	20.00

棟病トーリクシコ筋鐵ハ×ノ外欄 在現月四年十和昭



Faint, illegible text or notes located below the architectural diagram, possibly providing details or a legend for the plan.





昭和九年東京府立松澤病院年報

第一編 沿革、制度、事務

(一) 沿革

本院沿革ノ大要ハ明治十一年七月宮内省ヨリ金二萬三千圓ノ御下賜金ヲ以テ、明治十二年六月東京市下谷區上野公園内舊養育院ノ一部ニ精神病者五十人ヲ收容、治療ニ從事シ東京癲癇院ト稱ス、之レ本院ノ創立ニシテ東京府病院長長谷川泰氏兼任、時ノ院長タリ、續テ明治十三年ニハ病室狹隘ヲ告ゲシテ以テ十一月増築收容人員一百人トナス。此時ヨリ自費病者ノ入院ヲモ許スコト、シ、經費ハ從來國費支辨ナリシガ本年度ヨリ地方支辨ニ移サレタリ。同十四年七月中井常次郎氏院長ニ就任、同年八月東京市本郷區東片町(向ヶ岡)ニ新築移轉シ、收容定員百五十人ニ改ム、是レ我國ニ於ケル公立精神病院ノ嚆矢トス。同十九年六月ニハ更ニ東京市小石川區鶴籠町ニ移轉シ其ノ名稱ヲ東京府巢鴨病院ト改メ、同二十年三月ニハ東京帝國大學病院ニ於テ病者ノ治療ヲ擔當スルコト、ナリ、公費病者ノミ臨床講義ノ用ニ供セリ、是時ヨリ東京帝國大學教授醫學博士神俣氏醫長ヲ拜命、東京帝國大學病院ヨリ精神病學教室主任及ビ助手三人、調劑員二人ヲ派シ専ラ病者ノ治療ニ從事セリ。同三十年三月ニハ東京帝國大學助教授吳秀三氏醫長心得ヲ囑託セラル、同年八月同氏ハ海外ニ留學セラル、ニ當リ、後任トシテ東京帝國大學教授醫學博士片山國嘉氏醫長ヲ命ゼラ

ル、同十二月再々吳博士醫長ヲ囑託セラレ同三十七年四月ニハ院長ニ就任セラレタリ。
 爾後年々遂フテ精神病者ノ數増加スルト共ニ東京市ノ發展膨脹ノ結果幽靜ナル郊外ニ移轉ノ議當路ノ間ニ起リ、遂
 ニ大正七年三月現在ノ地ニ(當時府下荏原郡松澤村)新築工事ヲ起シ大正八年三月落成、同年十月開院式ヲ舉ゲ十一月
 移轉、東京府立松澤病院ト改稱シ、同九年十二月精神病院法ニ依ル府縣立精神病院ニ認定セラレ、同十年十一月勅使
 トシテ侍從長伯爵甘齋寺受長氏參向セラレ各病棟親シク御巡覽ノ恩惠ニ浴シタリ。同十四年六月吳院長退職同月東京
 帝國大學教授醫學博士三宅鏞一氏院長ニ任命セラレ、以後病棟ノ新築、改築、増築等ハ屢々行ハレ、諸規則ノ改廢等
 變遷アリ、現在ノ病者收容豫定數ハ男六二七人、女四〇五人計一、〇三二人ニ増加セルヲ以テ諸般ノ事務モ又複雑ト
 ナリ從テ従業員ノ定員モ増加スルニ至レリ。

(二) 敷地及ビ建物

本院敷地ハ六萬五千五百三十一坪ニシテ東京市ノ西端世田谷區上北澤町三丁目ニアリ、新宿ヨリ約五哩、(京王電車松
 澤驛下車)土地ハ高燥保健ニ適シ環境自ラ俗塵ヲ脱シテ極メテ閑靜ナリ、從テ病者ニハ不快ノ刺戟ヲ與フルコトナク
 院內ニハ野球場、「テニスコート」アリ、其ノ他男女運動場ニハ(男、女ヲ區別ス)種々ノ運動競技ノ設ケアリ、園藝、
 耕作地等モ亦其範圍大ナル面積ヲ有セリ。

建物ハ本館ヲ始トシテ、九十六棟内病棟二十七棟、一般建物六十九棟、此延建坪六千九百十八坪八合四勺ニシテ、
 本年五月竣工セル中第五病棟ハ女自費病者ヲ收容セル最新式ノ建物ニシテ廊下ヨリ中庭ニ自由ニ散步シ得ルモノニシ
 テ、之ガ工費ハ三萬三千二百餘圓ナリ。左ニ建物ノ構造並ニ坪數ヲ示ス。

建物名	構造	坪數	用途
本館	木造瓦葺二階建	延四八八、七五	東第一開放病棟
西第一開放病棟	木造大和スレート葺平家	一三三、五〇	東第二開放病棟
西重症病棟	同	一一二、八〇	東第一病棟
西第一病棟	同	二二三、〇〇	東第二病棟
西第二病棟	同	二九四、〇〇	東第三病棟
西第三病棟	同	二二七、〇〇	東第四病棟
西第四病棟	同	二〇八、二五	東第五病棟
西第五病棟	鐵筋コンクリート造平家	一八八、〇〇	一、一般建物
西第六病棟	同 貳階建	延三一四、六五	炊事場及牛乳消毒室
南第一、二病棟	木造瓦葺平家	延二四八、二五	裁縫場
南第三病棟	同	一四四、〇〇	洗濯場及消毒室
南第四病棟	鐵筋コンクリート造平家	一七三、〇〇	汽鍋室及鍛冶工場
南第五病棟	木造瓦葺平家	一四七、〇〇	巡查駐在所
南開放病棟	同	八七、〇〇	供待所及巡視所
南第七病棟	同	八七、〇〇	講堂
中第一病棟	木造大和スレート葺平家	二〇四、〇〇	看護夫寄宿舎
中第二病棟	同	一六八、五〇	看護婦寄宿舎
中第三病棟	同	二〇二、〇〇	被服寢具庫
中第四病棟	同	一八〇、二五	火夫室
中第五病棟	鐵筋コンクリート造平家	一五七、六二	薪炭庫

文庫	人造石造瓦葺式附建	延四二、〇〇〇
雜器庫	木造トタン葺平家二棟	延四二、〇〇〇
自動車運轉手 倉宅及車庫	木造瓦、トタン、交葺平家	二八、〇〇〇
揮發油庫	石造平家	九〇
調劑室	木造瓦葺平家	八、〇〇〇
洗瓶室	木造トタン葺平家	四、〇〇〇
藥品倉庫	鐵筋コンクリート造平家	一三、七三〇
瓦斯發生室	同	三、〇〇〇
米庫	木造瓦葺平家	一五、〇〇〇
野菜貯藏庫	同	二一、〇〇〇
食料貯藏庫	木造トタン葺平家	六、〇〇〇
運搬車置場	同	一四、七五〇
看護長宿直室	木造瓦葺平家	二七、〇〇〇
教育治療所	木造大和スレート葺平家	五二、三三〇
男病者工作場	木造トタン葺平家	四七、二五〇
女病者工作場	同	四〇、五〇〇
大工工作場	木造大和スレート葺平家	三三、七五〇
作業物置	木造瓦葺平家	九、〇〇〇
病者浴場及便所	同	一八、〇〇〇
看護夫食堂	同	七、〇〇〇
病者理髮所	同	一五、〇〇〇
製氷室	同	一五、〇〇〇

製氷貯藏室	木造瓦葺平家	延一二、〇〇〇
病者休憩所	木造大和スレート葺平家	延一五、七五〇
給水ポンプ室	木造瓦葺平家	延一五、〇〇〇
巡視詰所及 ポンプ置場	同	延一七、五〇〇
屍室及解剖室	同	延二四、二五〇
畜産物置	木造トタン葺平家	延九、〇〇〇
園丁詰所	同	延七、〇〇〇
農夫詰所	同	延一二、五〇〇
試驗動物舍	同	延九、〇〇〇
汚物燒却場	煉瓦造トタン葺	延一、五〇〇
便所	木造大和スレート葺三棟	延一、五〇〇
雞舍	木造ラバロイド葺三棟	延三九、〇〇〇
牛舍	木造トタン葺	延八、〇〇〇
豚舍	木造ラバロイド葺八棟	延七一、六六〇
屠殺場	木造トタン葺	延二、二五〇
一、舍	宅	
甲號舍	木造瓦葺平家(二戸建)一棟	延三四、五〇〇
乙號舍	同(二戸建)二棟	延四一、五〇〇
丙號舍	同(二戸建)二棟	延七七、〇〇〇
丁號舍	同(四戸建)一棟	延六〇、〇〇〇
戊號舍	同(四戸建)三棟	延四五、五〇〇

(三) 職員及ビ雇傭員

昭和九年十二月末日現在ノ職員ハ男三十八人、女三人、而シテ本年中ノ異動ハ就職醫員二人、書記一人、退職醫員三人、書記一人トス。雇傭員年末現在數ハ雇員男十六人女一人、自動車運轉助手一人、看護手男二人、女二人、傭人男五十二人、女二十三人ニシテ、本年中ノ異動ハ雇員就職男一人、傭人男二人、女一人、退職雇員男一人、傭人、男二人、女一人ナリ。左ニ年末現在ニ於ケル職員及ビ雇傭員數ヲ示ス。

(イ) 職員

院長	東京帝國大學 教授	醫學博士 三宅 鏡一	職員	醫學士 荻野 了
副院長	東京帝國大學 醫學部講師	醫學博士 齋藤 玉男	同	醫學士 野村 章恒
主事	東京府出納吏	法學士 島田 俊夫	同	醫學士 奧田 三郎
醫長	東京帝國大學 醫學部講師	醫學博士 關根 眞一	同	醫學士 齋藤 西洋
同	同	醫學博士 渡邊 道雄	同	醫學士 松村 英久
藥局長	同	藥學士 加藤 靜雄	同	醫學士 阿部 良男
同	同	醫學士 鈴木 順爾	同	醫學士 古川 復一
同	同	醫學士 菅 田七郎	同	醫學士 叶山 常吉
同	同	醫學士 稻田 七郎	同	醫學士 廣田 安次郎
同	同	醫學士 菅 田七郎	同	醫學士 市川 榮一
同	同	醫學士 菅 田七郎	同	醫學士 大谷 貫三

- 二、解剖及ビ生理大意。
- 三、外科的看護法及ビ繃帶術。
- 四、内科的看護法及ビ食餌療法並ニ「マツサージ」。
- 五、衛生及ビ傳染病大意。
- 六、消毒方法及ビ醫療器械取扱方法。
- 七、救急處置。
- 八、修身。
- 九、國語。
- 十、實地練習。
- 十一、課外講義。

其他看護上必要ト認ムル事項。

第五條 講習時間ハ前條第一號乃至第九號科目及第十二號ノ事項ハ一週六時間トシ第十號實地練習ト看護人服務時間ニ行フ。

第六條 試験ハ學說及ビ實地ノ二トシ學說試験ハ第一學年ノ終ニ之ヲ行フ。

第七條 修業試験ニ及第シタルモノハ學說修業證書ヲ授與シ、卒業試験ニ及第シタル者ハ卒業證書ヲ授與ス。

第八條 採點ハ一科目ノ滿點ヲ十點トシ一科目四點以上ニシテ平均五點以上ヲ得タル者ハ及第トス。

附 則

本則ハ昭和六年二月二十一日ヨリ施行シ明治三十九年一月制定ノ看護人養成規則ハ廢止ス。

以 上

(口) 看護人ノ獎勵

明治三十八年八月東京府知事一甲第四三八〇號ノ四認可、看護人ノ獎勵ハ左ノ四種トス。

一、功勞章。二、慰勞金。三、慰勞狀。四、慰勞休暇。

功勞章ハ功勞顯著ナルモノニ授與シ、慰勞金及ビ慰勞狀ハ順次之ニ次グ、慰勞休暇ハ皆勤六ヶ月以上ノモノニシテ即チ滿六ヶ月精勤者ニハ三日、滿一ケ年精勤者ニハ九日與フルモノトス。

明治三十六年東京府訓令第三十三號ニ基キ本年精勤證ヲ授與シタル者男六八人、女五〇人計一一八人、慰勞休暇證ヲ授與シタル者男一三六人、女七二人計二〇八人ナリ。

(ハ) 看護法講習修業者及ビ卒業者數

本年第二十九回講習生、男一五人女二二人(昭和六年入學同七年修業)、第三十回講習生、男一七人女二二人(昭和七年入學同八年修業)、第三十一回講習生、男一五人女一六人(昭和八年入學同九年修業)ニシテ第二十九回(昭和九年十一月卒業)男一三人女一〇人計一三人ナリトス。

(三) 看護人勤績年次

勤 績 年 次	男		女		計	勤 績 年 次	男		女		計
	昭 和 十 五 年 (大 正 元 年)	昭 和 十 五 年 (昭 和 元 年)	昭 和 十 五 年 (大 正 元 年)	昭 和 十 五 年 (昭 和 元 年)			昭 和 十 五 年 (大 正 元 年)	昭 和 十 五 年 (昭 和 元 年)			
明 治 四 十 年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 四 十 五 年 (大 正 元 年)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大 正 七 年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 九 年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 十 一 年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 十 二 年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 十 三 年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 十 四 年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	一 五 八	九 九	二 五 七	—	—	—	—	—	—	—	—

(五) 病棟及び病室

病棟ハ前述ノ如ク二十七棟ニシテ、分棟式建築ニヨリ病者ノ區分ヲ容易ナラシメ相互ノ煩雜ヲ避ケ特ニ開放病棟ノ如キハ病者ノ生活ニ有意義ニシテ此分棟式ニ依ラズバ到底期シ得ザル處ナリ、西第五病棟西第六病棟ニ二階建南第四病棟及ビ中第五病棟ハ鐵筋コンクリート造最近式建物ニシテ病者ハ自由ニ廊下ヨリ中庭ニ散步シ得、他ノ病棟ハ總テ木造瓦葺或ハ大和スレート葺平家建ニシテ、診察室、病者面會室、普通浴室、持續浴室ヲ設ク、病棟ヲ四班ニ分テ則チ西、男病棟八棟(重症病棟、西第一開放病棟ヲ含ム)ヲ第一班トシ、南男病棟七棟ヲ第二班トシ、中女病棟五棟ヲ第

三班、東女病棟七棟(東第一開放病棟、東第二開放病棟ヲ含ム)ヲ第四班トセリ、而シテ各班ニ看護長各一人ヲ置キ男女看護係長之ヲ統轄ス、病棟ニハ收容病者數ニ應ジ規定ノ看護人ヲ配屬セリ。

入院病者ニ對スル看護人所屬數

種 別	特等所屬	一等所屬	二等所屬	三等所屬	診察補助其他	合 計
看護婦	—	—	—	—	—	—
看護夫	—	—	—	—	—	—
合 計	—	—	—	—	—	—

病者一ケ年延人員ニ對スル看護人一日平均

種 別	病 者		看 護 人		入院病者實數	看護人規定數
	一ケ年延人員	一日平均	一ケ年延人員	一日平均		
特 等	—	—	—	—	—	—
一 等	—	—	—	—	—	—
二 等	—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—	—
三 等	—	—	—	—	—	—
合 計	—	—	—	—	—	—

病症ニ因ル收容病棟名及ビ定員

病棟名	收容病者病狀別	收容定員	
		自費	公費
西第一病棟	男自費安靜病者收容	四三	八五
西第二病棟	男三等安靜病者收容		
西第三病棟	男自費不安病者收容	四〇	一〇
西第四病棟	男自費及三等興奮病者收容(保護室)	六	一〇
西第五病棟	男自費及三等要監視病者收容	九	二〇
西第六病棟	男自費安靜病者收容	〇	〇
西第一開放病棟	男自費輕快病者收容	〇	〇
西重症病棟	男自費及三等重症病者收容	六	一
南第一、二病棟	男三等安靜病者收容	一六	七二
南第三病棟	男自費及三等不安病者收容		
南第四病棟	男三等不安病者收容		
南第五病棟	男三等輕快病者收容		
南第七病棟	男自費及三等合併症病者收容		
南開放病棟	女自費安靜病者收容		
中第一病棟	女三等安靜病者收容		
中第二病棟	女自費安靜病者收容		
中第三病棟	女三等安靜病者收容	三一	七〇

中第四病棟	女自費及三等興奮病者收容(保護室)	二〇	一四八
中第五病棟	女自費安靜病者收容		
東第一病棟	女三等安靜及不安病者收容		
東第二病棟	女自費安靜病者收容		
東第三病棟	女自費及三等合併症病者收容		
東第四病棟	同上		
東第五病棟	法定傳染病々者收容(男女)		
東第一開放病棟	女自費輕快病者收容		
東第二開放病棟	女三等輕快病者收容	四	一五

前記ノ如ク病棟ニ依リ病者ヲ區分ス病室ノ設備等ニ於テモ年々修理改良ヲナシツ、アリ、西第四病棟及西第五病棟ハ床板張り、若クハ疊敷、中第四病棟ハ床板張りトス、他ノ病棟ハ總テ純日本間ニシテ疊敷トシ、特等一等病室ニハ床ノ間、押入ヲ設ケ六疊又ハ八疊敷、二等病室ハ八疊敷ニシテ努メテ家庭的ニ隣室病者トノ往來ヲ自由ナラシメ、三等病室(公費)ハ十八疊乃至二十四疊敷ノ大廣間ニシテ前廊下トシ中庭ヲ設ケ、光線并ニ空氣ノ流通ヲ好クシ、衛生上頗ル完備セリ。

(六) 醫務

醫局ニハ醫局長ヲ兼ネル醫長二人(男子部一人女子部一人)ノ下ニ醫員十二人ヲ配シ、醫員ハ二個或ハ三個ノ病棟ヲ

分擔シテ病者ノ治療ニ從事スル外、化學、病理、心理「レントゲン」検査及ビ外來者ノ診察ニ從事ス、醫長、副院長、院長ハ交互ニ病棟ヲ回診シテ醫員ヲ指揮監督スルト共ニ病者ノ治療ニ從事ス。

藥局ニハ藥局長一人、調劑員五人ヲ配シ、醫員ノ處方ニ基キ之ヲ調劑シ、且ツ種々ナル化學的検査ヲナス傍ラ營養品ノ購入及ビ配給ヲ擔當シ、藥局長之ガ指揮監督ヲナス。

看護係ニハ看護長四人、(内一人ハ作業治療部ニ屬ス)看護婦長三人、アリテ醫員ノ命ヲ受ケ看護ノ事務ヲ處理シ、竝ニ看護人ノ指揮監督ノ任ニ當ル、看護手男女各二名ハ看護係事務ヲ分擔シ、看護人取締男女各二人ハ看護人ヲ取締看護人組長ハ其ノ病棟ノ取締ヲナス。

(七) 治療

治療ニ關シテハ専門事實ニ亘ルモ、要スルニ藥物的及ビ化學的、物理的治療ニ依ル外教育治療、作業治療(病者慰安及娛樂運動ヲ含ム)ヲ其主ナルモノトシ、其ノ外體操、訓話等ニ依ル精神治療ヲモ之ニ配伍ス。

(一) 教育治療

教育治療ハ從來ノ實績ニ徴シ其ノ効果大ナルニ依リ科學的ニ病者ノ氣分ヲ善導シ安心克己自重等ノ意力ヲ養成シ合理的ナル生活ヲ誘致スルニ勉ム、教育治療所ニハ常ニ新聞、雜誌、其ノ他參考トナルベキ一般圖書類又ハ蓄音機「オルガン」「ラジオ」「ピンポン」等ノ樂器及ビ遊戯品ヲ備ヘ置キ病者ニ隨時閱覽竝ニ使用セシム、尙病者ノ機關雜誌トシ

テ年四回「松の緑」(三〇頁位ノモノ)ヲ發行シ、和歌、俳句、戯曲、隨筆或ハ小説等病者ノ投稿其儘ヲ掲載シ病者ヲ慰安セリ、教育治療ノ漸次進歩シ、目的ニ副フコトハ當局ノ獎勵與ツテ力アリトス。

(二) 作業治療

作業療法ハ現在世界各國ノ精神病院ニテ最モ重視シテ實施シツ、アル療法ニシテ、病者ニハ農業及園藝等ノ作業ヲセシメテ、病室ニ閉居スル爲メニ生ズル凡ユル弊害ヲ防止スルト共ニ、病者ノ身心ニ活氣ヲ注入シ、其疾病ニ對スル抵抗力ヲ増進シ、病者ノ注意ヲ安覺、妄想等ノ病的觀念ヨリ現實ノ世界ニ向ケ、身心ノ健康ナル部分ノ發達ヲ圖ル療法ナリ。

本院ハ明治三十四年以來、本療法ヲ實施シテ頗ル好成绩ヲ舉ゲツ、アリ、昭和九年中ニ本療法ヲ實施セル病者數ハ實人員男二六一人、女一〇四人計三六五人ニシテ、昨年ヨリモ増加セルコト男二人、女一人計三三人ナリ、此一年分ノ延人員ハ男三七、九四八人、女一五、五四五人、計五三、四九三人ナリ、其ノ中、病棟外作業ハ男二七、四三〇人、女九、七八二人、計三七、二二二人、病棟内作業ハ男一〇、五一八人、女五、七六三人、計一六、二八一人ナリ、此延人員ハ昨年ヨリ増加セルコト男三、五六九人、女九四四人、計四、五一三人ナリ、大略一日平均二二人強ノ増加ナリ、作業日數ヲ三百日トスルナラバ、平均一日ノ作業病者數ハ男一二六人(病棟外九一人、病棟内三五人)女五二人(病棟外三三人病棟内一九人)計一七八人ナリ、之ヲ本院一日平均在院病者數ニ對スル百分率ヲ以テ示セバ一八%ニテ未ダ歐米諸國ノソレニ及バザルコト遠シト云ハザルベカラズ。

本年中特記スベキコトハ、從來病室ノ看護人ヲシテ不規則ニ作業セシメ居タル、塗工作業ヲ昭和九年二月十三日ヨ

リ正式ニ外部作業ノ一部ニ加へ、繼續的ニ作業セシメタルコト、及ビ同年八月二十三日ヨリ十二人ノ女病者ヲ以テ外部掃除作業ヲ始メタルコト、ナリ、此ノ女掃除作業ハ單ニ院庭ノ掃除ノミナラズ、男園藝部作業ト合同シ、稻刈、唐箕等ノ作業ヲナサシメタリ。

此ノ男女合同作業ハ作業ノ氣分ヲ明ルク融和的ナラシムル點ニ於テ効果誠ニ大ナリ。
 作業病者中本年内ニ退院セル病者數ハ二十八人ニシテ其ノ中男二十二人、女六人、ナリ、其ノ轉歸ハ全治一五人輕快二人、未治一人ナリ、病名ハ精神乖離病(全治四人、輕快六人)躁鬱病(全治五人)拘禁性精神病(輕快一人、全治三人)麻痺性痲呆(輕快一人)變質性精神病(未治一人、輕快一人)接枝性破瓜病(輕快一人、全治一人)中酒性精神病(全治一人)ヒステリー(輕快一人)産褥性精神病(全治一人)ナリ。

作業病者數一覽(昭和九年度)

- 一、實人員、三六五人、男二六一人、女一〇四人、
- 一、延人員、五三、四九三人、男三七、九四八人、女二五、五四五人
- 男病棟外二七、四三〇人
病棟内一〇、五一八人
- 女病棟外 九、七八二人
病棟内 五、七六三人
- 一、一ヶ月平均歩員四、四五七人

一、一日平均病者數一七八人、男一二六人、女五二人

- 男病棟外 九一人
病棟内 三五人
- 女病棟外 三三人
病棟内 一九人

但シ作業日數ハ三百日トス

新作業病者數(昭和九年度)

計	性別		月別
	女	男	
一	一	一人	一月
四	一	四人	二月
九	三	六人	三月
六	一	五人	四月
七	一	七人	五月
五	三	二人	六月
六	一	六人	七月
二五	一七	八人	八月
五	一	五人	九月
四	一	四人	十月
二	一	二人	十一月
七	二	五人	十二月
八一	二七	五四人	計
六、八	二、三	四、五	一ヶ月平均

作業治療實施病者實人員月別(昭和九年中)

男子病棟外作業

作業別	月別										合計	本年實人員			
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月			十一月	十二月	
印刷	六	六	六	七	六	五	五	五	五	七	六	六	七	七	九
取役	二	二	二	二	二	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
藥劑	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
炊事	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
勤勞	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
掃除	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
縫紉	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
園藝	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
畜産	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
農作	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
見習	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
合計	二〇	二〇	二〇	二一	二〇	一八	一八	一八	一八	二一	二〇	二〇	二一	二一	二二
本年實人員	二〇	二〇	二〇	二一	二〇	一八	一八	一八	一八	二一	二〇	二〇	二一	二一	二二

男子病棟内作業

(本年總實人員二六一人)

種類	月別										合計	本年實人員			
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月			十一月	十二月	
封筒	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
封筒内雜役	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
繪圖	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
合計	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
本年實人員	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二

女子病棟外作業

(本年總實人員一〇四人)

種類	月別										合計	本年實人員			
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月			十一月	十二月	
裁縫	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
洗濯	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
掃除	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
草取	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
合計	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四
本年實人員	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四

女子病棟内作業